

# 南病棟 1 階

(整形外科・脳神経外科)

## 1. 看護単位の概要

病 床 数 48 床 (整形外科外来と一元化看護体制)

整形外科 38 床 脳神経外科 7 床 南 1 ～ 4 病棟共通病床 3 床

## 2. 病棟の特徴

### 1) 整形外科

整形外科では骨、関節、脊椎、脊髄、筋肉など運動器の加齢に伴う変性疾患、スポーツ障害、先天性疾患、腫瘍性疾患などを対象に、分野ごとの専門医が安定した治療を提供している。対象疾患は頸椎症、腰椎脊柱管狭窄症、脊柱靱帯骨化症、脊髄腫瘍、変形性股関節症、変形性膝関節症、関節リウマチ、骨粗鬆症、スポーツ障害、腕神経叢損傷、上腕先天奇形、膝靱帯軟骨損傷、と多岐の運動器官にわたり、その多くは外科的手術が行われている。悪性骨腫瘍、悪性軟部腫瘍等の腫瘍疾患に対しては、手術の他、化学療法・放射線治療を組み合わせた集学的治療も行っている。

### 2) 脳神経外科

脳腫瘍（神経膠腫・髄膜種・転移性脳腫瘍、下垂体線腫など）や脊髄腫瘍に対する診断と手術・化学療法・放射線療法を組み合わせた集学的治療や、脳血管障害（脳動脈瘤・脳動静脈奇形・硬膜動静脈瘻・閉塞性脳血管障害・もやもや病など）に対する外科的治療や脳血管内治療（コイル塞栓術、フローダイバーター治療、脳血管塞栓術など）、また、脳卒中（クモ膜下出血、脳出血、脳梗塞）の治療を行っている。当病棟は検査入院や化学療法等の患者の受け入れを主に行っている。

### 3) 看護の特徴

主な看護は、整形外科手術の周術期管理、および回復期へ移行していく段階における日常生活行動の積極的な自立への支援である。そのために、理学療法部と連携し早期離床・早期リハビリテーションを行い、運動器の機能回復を目指している。また、脳・脊髄系疾患においても、運動麻痺や嚥下障害、意識障害や高次脳機能障害を有する患者への残存機能を最大限に活かし、回復患者の持つ自己回復力を高める働きかけを行っている。看護の根底には、ユマニチュード®の哲学を基にその人らしさを尊重し優しさを届ける看護を心がけている。高齢化社会において尊厳ある生命、生活を維持するための運動機能の維持、増進を患者と共に目指し、人々が健康な社会生活をおくりそれぞれの人生を全うすることを下支えする役割を持つ。悪性腫瘍患者の看護においては、緩和ケアチームやソーシャルワーカー、病棟薬剤師や栄養士等の多職種と協働し、心身の苦痛の緩和やその人らしさを尊重できるようケアに努めている。